

Ⅲ. 活動報告

企画展「古典籍へのいざない源氏物語と絵画」展観と講演 実施報告 ……	26
講演会「心齋橋と大阪の出版文化」実施報告 ……	29
平成20年度貴重図書展示報告 ……	30
平成20年度図書館職員研修実施報告 ……	34
平成20年度学生選書会議活動報告 ……	35

企画展「古典籍へのいざない 源氏物語と絵画」

展観と講演 実施報告

学術情報センター図書館では、平成17年度より、企画展「古典籍へのいざない」と題して、展観と講演会を開催している。平成20年（2008）は、源氏物語が成立していたといわれる寛弘5年（1008）より千年目にあたり、源氏千年紀にちなんで、本学で所蔵する源氏物語関連資料の展観と講演を、下記のとおり行なった。

展観では、NHK教養テレビ「日曜美術館」（平成20年9月14日放映）でも紹介された「源氏物語絵詞」や、美しい彩色の「源氏物語錦絵」などを展示し、多くの入館者が興味深く展示ケースを覗き込まれていた。

講演は、本学教員による源氏物語と絵画をテーマにした興味深い内容で、活発な質疑応答が行われた。講演終了後は、展示中の資料について講師の解説を聞きながら見学していただいた。講演参加者のアンケート回答からも「わかりやすく大変興味深かった」という感想を数多くいただき、好評であった。

記

1. 展観

日 時：平成20年10月1日（水）～11月30日（日）
午前9時～午後8時（土・日は午前10時～午後4時）
場 所：学術情報センター図書館1階 カウンター前ロビー
配布資料：展観図書紹介

2. 講演

日 時：平成20年11月20日（木）午後3時～5時
場 所：学術情報センター図書館1階 視聴覚室
講 師：人間社会学部 青木賜鶴子准教授
「源氏物語と絵画」
配布資料：講師によるレジュメ
参加人数：47名



3. 展示資料

本学所蔵「源氏物語」関連貴重図書十二点

げんじものがたりえことば
源氏物語絵詞 室町時代写 一冊

『源氏物語』各巻の中から絵に描かれるべき場面を選び、図様の説明と対応する本文を掲げる。同趣の書物の中でも、場面数が二百七十九場面と最も多く、図様の指示も詳細である。源氏絵の製作を監修する立場の人物が製作者に指示を与えたものと考えられている。中世以降の『源氏物語』享受史の上でも貴重な一書である。

えいりげんじものがたり
絵入源氏物語 承応三年（一六五四）刊 六〇冊

山本春正が本文に句読点と注を付し、挿絵を入れて編集したもの。慶安三年（一六五〇）春正の跋文がある。『源氏物語』各巻一冊と系図、引歌等をあわせて六十冊とする。挿絵は各巻に一面から九面程度で、代表的な場面の要所要所に見られ、物語の本文に沿って描かれている。柱に巻名と丁付けを付す。

えいりげんじものがたり
絵入源氏物語 承応三年（一六五四）刊 六〇冊のうち須磨欠 2の異版。

刊記、本文、絵ともに2と同じだが、巻名と丁付けは柱ではなくノド（綴じ目部分）に付す。

げんじこかがみ
絵入源氏小鏡 明暦三年（一六五七）刊 三冊

『源氏物語』の梗概書『源氏小鏡』の刊行は慶長十五年（一六一〇）の古活字本が最初であるが、絵入整版本は、明暦三年、延宝三年（一六七五）、寛文六年（一六六六）などの版が知られている。挿絵は一卷に一図。

げんじこかがみ
源氏小鏡（絵入） 三冊のうち巻一を欠く

明暦三年安田版とは文・絵ともに異なる。刊記「江府文林堂日本橋南壺丁目 須原屋茂兵衛改正」。江戸時代中期の刊か。

げんじびんかがみ
源氏鬢鏡 天和三年（一六八三）刊 四冊

万治三年（一六六〇）、松永貞徳の弟子であった小島宗賢と鈴木信房が編纂した俳諧のための入門書。一卷に一図の挿絵を載せ、『源氏小鏡』からの引用と俳諧の発句を付す。挿絵はおもに巻名の由来となる場面が選ばれ、大半は『絵入源氏物語』の模倣である。

じゅうじょうげんじ
十帖源氏 無刊記 十冊のうち巻三を欠く

俳諧師で雛人形師でもあった野々口立圃（親重）が編集した『源氏物語』の梗概書で、文・絵ともに立圃の手になる。跋文によれば成立は承応三年（一六五四）。原作の和歌をほとんどおさめ、一二九にのぼる挿絵は中世の源氏物語絵の図案を踏襲しながらも俳画風

の絵になっている。7は無跋無刊記だが立圃署名のある版よりも古く『十帖源氏』の初版とされている。

げんじものがたりたいがいししょう
源氏物語大概抄 無刊記 三冊

無刊記。野々口立圃の『おさな源氏』の後刷改題本で、天明八年（一七八八）以降の刊と指摘されている。挿絵は『おさな源氏』寛文十年（一六七〇）山本義兵衛版（吉田幸一氏によれば寛文元年立圃自跋署名本も同じ）とすべて一致し、『十帖源氏』の画面をそのまま、あるいは反転してしまったまま利用している。

げんじものがたり
おさな源氏物語 寛文十二年（一六七二）刊 五冊

野々口立圃が幼少婦女子のために『十帖源氏』をさらに簡略に書き直したもの。これは寛文十二年の松会版。版本の絵に色を塗った丹緑本である。

げんじやまとえかがみ
源氏大和絵鑑 貞享二年（一六八五）刊 二冊

貞享二年、鱗形屋版。他の版は知られない。外題は「新板 源氏絵鏡」。菱河師宣の絵になる。各巻に一図ずつの絵を丸枠内に描き、後光明院御製の巻名和歌と簡単な巻の説明を記す。絵の場面は各巻の最も代表的な箇所が選ばれている。

げんじものがたりにしきえ
源氏物語錦絵 一合

歌川豊国二世（国貞改、一陽斎、香蝶楼）画。一筆斎刊。一卷一枚で五十四枚揃。巻名の由来となった和歌、源氏香図を付す。文政八年から天保頃（一八二五～一八四〇頃）の刊か。

げんじものがたりえづくしたいししょう
源氏物語絵尽大意抄 天保八年（一八三七）刊一冊

天保八年、甘泉堂和泉屋市兵衛刊。溪斎英泉画。『源氏物語』の巻毎の絵に、巻名の由来となった和歌、源氏香図を付し、頭書に源氏講釈を載せる。巻頭に多色刷の近江八景図と和歌を付載。

講演会「心齋橋と大阪の出版文化」 実施報告

学術情報センター図書館では、平成20年8月26日に「心齋橋と大阪の出版文化」というテーマで講演会を下記のとおり開催した。

当日は学内教職員、学生をはじめ、学外の方78名を含めて111名の方に参加いただいた。会場内には、講演者2名の著書やパネルに現在の心齋橋の写真、当時の心齋橋の地図などを貼った展示を行い、参加者の興味を引いた。また、学術情報センター1階ロビーで「住吉大社御文庫の世界」というテーマで住吉大社御文庫資料を展示し、講演後は講演者2名の著書の貸出を行った。

本学大学院生の大橋氏は、住吉大社と住吉大社御文庫の紹介、近世から明治期に至るまでの大阪の出版文化の変遷、住吉大社御文庫にも所蔵されている心齋橋の出版社から出版された近代絵本について、住吉大社御文庫資料の画像を交えて講演された。



橋爪教授は、「大大阪」と呼ばれた時代の心齋橋の賑わい、大阪のモダニズムについて語られ、今後の大阪文化の発展についても触れられた。また、「大大阪」時代の心齋橋のビデオなども紹介され、参加者の関心を集めた。

講演後には活発な質疑応答が行われ、好評のうちに講演会は終了した。

学術情報センター図書館では、今後も大阪に関連した展示（展観）や講演会などを継続して開催していきたい。

記

講演会「心齋橋と大阪の出版文化」

日時：平成20年8月26日（火）午後1時30分～4時

場所：大阪府立大学学術交流会館多目的ホール

講演：①「心齋橋の出版文化と住吉大社御文庫」
人間社会学研究科院生 大橋眞由美
②「大大阪の時代と心齋橋 -風俗・商い・都市景観」
大阪府立大学教授 橋爪伸也

配布資料：講師によるレジュメ

参加人数：111名

ポスター：心齋橋絵葉書（橋爪伸也コレクションより）



平成20年度貴重図書展示報告

学術情報センター図書館では、前年度に続き平成20年度も図書館1階カウンター前で貴重図書の展示を実施した。当館所蔵の貴重図書の展示紹介のほかに、住吉大社御文庫、大阪府立中央図書館から借用した資料の展示、紹介など、7回にわたっての企画内容も変化に富み、利用者からも好評を得ることができた。

● 「浪花のにぎわい」 平成20年4月～5月

- ① 改正増補國寶大阪全圖 文久三年（1863）刊 1 舗
- ② 摂津名所図会 大坂部四下 道頓堀の顔見世興業
- ③ 摂津名所図会 大坂部四下 雑喉場魚市
- ④ 浪華の賑ひ 初篇 安政二年（1855）刊 櫻宮
- ⑤ 摂津名所図会 大坂部四上 堂島の米市
- ⑥ 浪華の賑ひ 二篇 安政二年（1855）刊 戎橋の風景
- ⑦ 河内國細見小圖 享和二年（1802）刊
- ⑧ 和泉名所図会 卷之一大鳥郡 寛政八年（1796）刊 堺浦魚市
- ⑨ 和泉名所図会 卷之二大鳥郡 寛政八年（1796）刊 堺の包丁
- ⑩ 山海名産図会 寛政十一年（1799）刊 伊丹酒造
- ⑪ 河内名所図会 享和元年（1801）刊 譽田の轡鍛冶
- ⑫ 日本山海名物図絵 四 宝暦四年（1754）刊 河内小山の扇
- ⑬ 日本山海名物図絵 三 宝暦四年（1754）刊 平野の飴



● 「住吉大社御文庫の世界（続）」 平成20年6月～7月

- ① 大使新報 第一～三 合本一冊 大使事務局 明治五年（1872）
- ② 新聞雑誌 第五〇・五二・五三 合本一冊 東京 東京日清堂 明治五年（1872）
- ③ 大阪新聞 第九号 大阪 大阪書籍会社 明治五年（1872）
- ④ 大阪パック 第一七年第一号 大阪 大阪パック社 大正十一年一月一日（1922）
- ⑤ 大阪パック 第一七年第六号 大阪 輝文館 大正十一年三月一五日（1922）
- ⑥ 天下一品 赤雑誌三月号 大阪 輝文館 明治四二年（1909）
- ⑦ 天下一品 赤雑誌三月号 大阪 輝文館 明治四二年（1909）
- ⑧ 天下一品 赤雑誌五月号 大阪 輝文館 明治四二年（1909）
- ⑨ 錦画百事新聞 合本一冊 長谷川貞信画 大阪 前田武八郎 明治八年（1875）
推定 第三号
- ⑩ 錦画百事新聞 合本一冊 長谷川貞信画 大阪 前田武八郎 明治八年（1875）
推定 第五九号
- ⑪ 絵入 清国征伐軍歌 東京・大阪 東雲堂 明治二七年（1894）
- ⑫ 露西亞征伐軍歌 東洋散人著 田村九兵衛編 大阪 田村熙春堂 明治三七年（1904）
- ⑬ 源平盛衰記 雨の家主人著 大阪 和田正蔵 明治一八年（1885）
- ⑭ 絵本義士銘々伝 中村善兵衛編 大阪 和田正蔵 明治一九年（1886）

- ⑮ 怪談皿屋舗実記 野村銀治郎（原板） 大阪 岡本仙助（翻刻） 明治一九年（1886）
- ⑯ 絵本真書太閤記 大徳寺焼香 藤谷虎三編 大阪 偉業館 明治二〇年（1887）
- ⑰ 敵討御堂前実記 素道漁夫編纂 大阪 田中宋栄堂 比村欽英堂
明治二一年（1888）
- ⑱ 大阪営業案内 一名、大阪商品仕入便覧 岸本栄七編 大阪 博報社
明治三四年（1901）

● 「絵で見る古典」 平成 20 年 8 月～9 月

- ① 繪入竹取物語
- ② 繪入伊勢物語
- ③ 源氏大和絵鑑 刊 二冊 享保二年（1685）刊
- ④ 絵本つれづれ草
- ⑤ 道成寺縁起絵巻 写 二卷
- ⑥ 謡曲 松風
- ⑦ デカメロン ボッカチオ
- ⑧ 神曲 ダンテ
- ⑨ 魯敏遜漂流行記略（ロビンソンクルーソー） 翻訳 〔複製〕
- ⑩ Momotaro（桃太郎） 縮緬本
- ⑪ 絵入英語箋階梯
- ⑫ 和英商賈対話集
- ⑬ 英語図解
- ⑭ 改正増補 英和对訳袖珍辞書



● 「源氏物語と絵画」 平成 20 年 10 月～11 月

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① 源氏物語絵詞 | 室町時代写 一冊 |
| ② 絵入源氏物語 | 承応三年刊 六十冊 |
| ③ 絵入源氏物語 | 承応三年刊
六十冊のうち須磨欠 |
| ④ 源氏鬢鏡 | 天和三年刊 四冊 |
| ⑤ 絵入源氏小鏡 | 明暦三年刊 三冊 |
| ⑥ 源氏小鏡（絵入） | 三冊のうち巻一を欠く |
| ⑦ 源氏物語大概抄 | 無刊記 三冊 |
| ⑧ 十帖源氏 | 無刊記 十冊のうち巻三を欠く |
| ⑨ おさな源氏物語 | 寛文十二年刊 五冊 |
| ⑩ 源氏大和絵鑑 | 貞享二年刊 二冊 |
| ⑪ 源氏物語錦絵 | 一合 |
| ⑫ 源氏物語絵尽大意抄 | 天保八年刊 一冊 |



● 大阪府立中央図書館所蔵『ダ・ヴィンチの素描展 平成20年12月～平成21年1月』

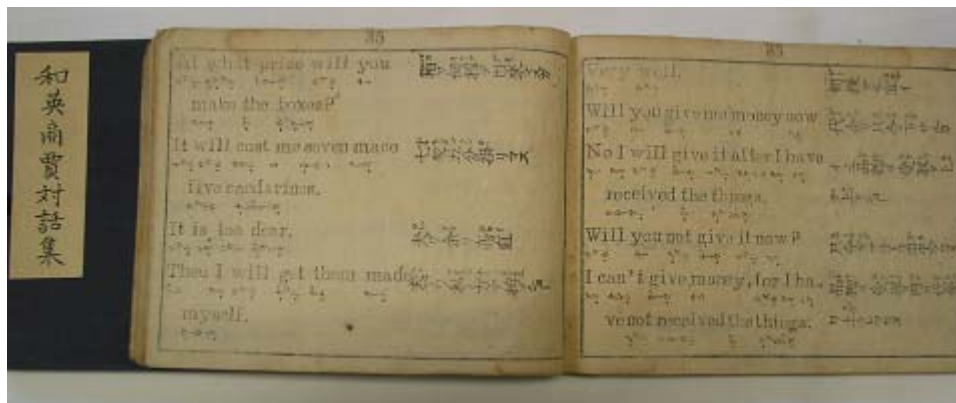


- ① 自画像 1512年
- ② 指さす女性 1518年頃 RL12581r
- ③ 花をつけた一茎のユリ 1478年頃/1485年頃 RL12418r
- ④ 老人の胸像、雨、水、植物および幾何学研究を含むさまざまな習作とノートの紙葉
1489-90年頃 RL12283r
- ⑤ サイフォンおよび打撃を加えようとする人物を描いたさまざまな習作
1500年以降 RL12641v
- ⑥ 樹木の習作 1500年以降 RL12417r
- ⑦ 障害の板をこえて流れる水および濠の中に落下する水の習作とノート
1509年頃 RL12660v
- ⑧ 寓意画 1515-16年頃 RL12496r
- ⑨ スフォルツァ騎馬像のための習作 1489-90年頃 RL12358r
- ⑩ 爪車、伝動、滑車、鑄造装置の習作 RL12349r
- ⑪ 馬の習作 1503-05年頃 RL12326r RL12327r
- ⑫ 記念騎馬像を扱う習作 RL12353ar RL12353r
- ⑬ グロテスクな動物の頭部の習作 1510-13年頃 RL12367 r
- ⑭ 猫の習作、ドラゴンの習作 1513-15年頃 RL12363 r

● 「外国語事始一幕末・明治のまなびと遊び」 平成21年2月～4月

- ① ウイルソン氏リードル双伍呂久 一枚 明治一八年（1885）十一月
岡本光訳 岡本信閑 松斎吟光画
- ② 英和単語図解 二枚 明治二〇年（1887）四月 大倉四郎兵衛画
- ③ Japanese Fairy Tale Series（日本昔噺）縮緬本
「No.3 Battle of the monkey and crab（猿蟹合戦）」
「No.4 The old man who made the dead blossom（花咲翁）」
「No.6 The mouse's wedding（鼠の嫁入）」
「No.8 Urashima, the fisher-boy（浦島）」
- ④ 扇面単語図解 一枚 明治六年（1873）六月 楮紙扇面 銅版。
- ⑤ 西洋国字はうた 初編 刊 一冊 明治五年（1872）一月序
山兄堂晋水撰 朝香楼芳春画
- ⑥ 絵入英語箋階梯 刊 一冊 慶応三年（1867） 阿部喜任著 服部雪斎画

- ⑦ ドーデモ英和字彙 刊 一冊 明治一八年（1885）十月 礪川喜望戯著
- ⑧ 蘭学重宝記 刊 一冊 嘉永三年（1850） 賀樹麻呂著
- ⑨ 和英商賈對話集 初編 刊 一冊 安政六年（1859）刊 本木昌造著
長崎筑後町塩田幸八刊行



- ⑩ 孝和袖珍字書 刊 一冊 明治五年（1872） 小田條次郎・藤井三郎・桜井勇作編
- ⑪ 法朗西単語篇 刊 一冊 慶応二年（1866） 開成所篇
- ⑫ 英米對話捷徑 刊 一冊 安政六年（1859）九月 中濱万次郎訳
- ⑬ 和英通韻以呂波便覽 慶応四年（1868）三月序 卷菱湖（卷大任）・阿蘭陀人
（コンシユルフローエンド）書 尚友堂主人校 土佐 海援隊蔵版
- ⑭ 増訂華英通語 刊 二冊 万延元年（1860）八月 子卿原著 福沢諭吉訳
- ⑮ 和英語林集成 刊 一冊 慶応三年（1867） J. C. Hepburn編
- ⑯ 英和対訳辞書 刊 一冊 明治五年（1872） 荒井郁編 開拓史版

● 「今よみがえる江戸期の源氏版木」 平成 21 年 3 月

- ① 版木9 帚木 第46・47丁（端食付き）
- ② 再摺り 帚木 第46丁
- ③ 再摺り 帚木 第47丁
- ④ 版木12 空蟬 第1丁・語釈 第24丁
- ⑤ 再摺り 空蟬 第1丁
- ⑥ 再摺り 語釈 第24丁
- ⑦ 松村版「余釈二」 卷末刊記
- ⑧ 松村版「語釈」 第24丁
- ⑨ 版木23 末摘花 第15・16丁
- ⑩ 再摺り 末摘花 第15丁
- ⑪ 再摺り 末摘花 第16丁
- ⑫ 版木36 余釈一 目3（片面のみ）
- ⑬ 再摺り 余釈一 目3
- ⑭ 初版「余釈」 中河の家の図（空蟬巻）
- ⑮ 萩原広道『源氏物語評釈初版「夕顔」 卷末刊記
- ⑯ 萩原広道『源氏物語評釈松村版「夕顔」 卷末刊記

平成20年度図書館職員研修実施報告

第1回 学内資料を知らう-2：中尾佐助コレクション資料について

講 師 生命環境科学研究科 山口裕文教授
開催日 平成20年9月10日（木）
参加者 38名
内 容 本学名誉教授故中尾佐助氏の業績や代表的な著作、本学コレクションの内容、構築中の中尾佐助スライドデータベースについて講義していただいた。講義後は、質疑応答が行われ、中尾コレクション資料の現代的な意味についての認識を深めた。また実際にコレクションを見て、資料の保存方法、利用者へのサービス提供方法について指導を受けた。

第2回 機関リポジトリの目指すもの（講演会）

講 師 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 逸村裕教授
開催日 平成20年12月4日（木）
参加者 本学参加者 77名
学外参加者 19名
*羽曳野キャンパスには、遠隔中継を行った。
*大学図書館近畿イニシアティブ、
DRF(Digital Repository Federation)への
公開研修

内 容 講師は、学術情報基盤の流通について研究しておられ、機関リポジトリ研究の第一人者である。講演では、機関リポジトリとは何か、背景にある流れは何かという概説から、現在の最先端の研究内容まで講演していただいた。講演後には活発な質疑応答が行われ、参加者それぞれにとって興味深い、有意義な講演会となった。



第3回 国立国会図書館のウェブ・ツールを使ったレファレンス

講 師 島村 聡明（国立国会図書館関西館 文献提供課）
開催日 平成21年2月13日（金）
参加者 本学参加者 25名
学外参加者 28名
*大学図書館近畿イニシアティブへの公開研修

内 容 司書職員に求められる専門性の中で、最も重要度が高いと言われているのが、レファレンスの能力であり、昨年度に引き続いてレファレンスに関する研修を行った。今年度は、国立国会図書館のウェブ・ツールを使ったレファレンスについて、国立国会図書館関西館から講師を招いて研修を行った。前半は講義、後半は1人1台ずつパソコンを用いて、実際のレファレンス事例について実習を行った。

平成20年度学生選書会議活動報告

(中百舌鳥キャンパス)

委員募集 期間：平成20年5月23日(金)～6月30日(月)

ポスター掲示やチラシ配付のほか、図書館ホームページ、学生ポータル、WEBSCに案内を掲載して募集し、学生・院生あわせて14名の委員を選出。

第1回会議 平成20年8月5日(火)

選書会議や推薦図書の情報収集方法を説明したほか、進行役が中心となって選書方針や選書方法について話し合った。

今年度は、すでに購入している雑誌で来年度も継続したほうが良いと思われる雑誌をまず選定し、残りの金額を各委員の持分として推薦することになった。

なお、進行役は事前に立候補により、委員相互の話合いで決まった。

書店訪問 平成20年9月29日(月) ジュンク堂書店大阪本店

書店を訪問し、収集した情報を元に推薦図書を選んだ。

第2回会議 平成20年11月20日(木)

書店訪問等で選んだ図書を含む各委員が作成したリストをもとに図書を選定。

学生選書会議や選定した図書のことを他の学生にもっと知ってほしい、という委員の意見があり、展示を企画することとなった。

最終購入数は図書 474冊、雑誌(2009年度購読) 8誌。

第3回会議 平成21年2月27日(金)

学生選書コーナーやテーマ別展示、貴重書庫を見学したあと、今年度の活動について意見交換を行った。

展示企画 『2008年度学生選書会議 十人十色 14人140冊。Book Selection of Students, by Students, for Students』

期間：平成21年1月19日(月)～平成21年4月17日(金)

冊数：140冊

配付：冊子(各委員の持ちページ付)

貸出数：1,368冊(展示コーナーの貸出冊数は531冊)



(羽曳野キャンパス)

委員募集 期間：平成20年6月2日（月）～6月30日（月）

ポスター掲示やチラシ配付のほか、図書館ホームページ、ポータル掲示版の掲載により募集し、学生・院生あわせて8名の委員を選出した。

第1回会議 平成20年8月20日（水）

学生選書会議の趣旨、選書方針、推薦図書の収集方法、スケジュールの説明をし、進行役が中心となって今回の選書方針や選書方法について話し合った。

なお、進行役は事前に立候補により、委員相互の話合いで決まった。

書店訪問 平成20年9月30日（火）ジュンク堂書店大阪本店

予め、各自で作成した推薦リストを元に実際に書店へ出かけて店頭にある図書を選んだ。

第2回会議 平成20年10月17日（金）

書店訪問等で選んだ図書や、それ以外に推薦した図書を、各委員が推薦理由等を説明し意見交換をしながら選定した。又、今後の参考のために「学生選書会議アンケート」を実施した。今年度は学生選書資料の中で、特に進める図書を3冊選んでもらい推薦の言葉を「図書センターNews」に掲載した。最終購入数は図書 156冊となった。

特別展示 『ホントはもう所蔵しています☆』

期間：平成20年12月1日（月）～26日（金）

学生選書委員が推薦した資料のうち、すでに所蔵していた資料を展示。

学生選書委員の活動内容などを照会したミニブックを作成・配布した。

